

Ⅲ キャリア支援

～自分の人生を切り拓くために

大学卒業後の進路が就職であろうと進学であろうと、みなさんは近い将来、社会の一員として生きていかなければならないことには変わりありません。従って、みなさんは社会から必要とされる人材となるよう絶えず意識して学生生活を送らなければなりません。

社会から必要とされる人材とはどういう人を指すのでしょうか。多くの職場で求められるのは、基礎的な学力はもちろんのこと、主体性、コミュニケーション能力、チャレンジ精神、問題解決力、協調性など総合的な人間力を有する人材です。しかしながら、こうした能力は一朝一夕に身に付くものではありません。

何よりも、学生の本分である学業に真剣に取り組むことが重要です。そして、クラブやサークル活動、ボランティア・地域活動、海外での異文化体験等、興味を持ったことにはどんどんチャレンジしましょう。教室の中と外での主体的・積極的な取り組みが、人間力を育むのです。

変化の激しい現代社会にあっては、これまでの「当たり前」が通用しなくなっています。業界の再編、企業間の統合は日常的に耳にしますし、苦勞して身に付けた知識や技術が数年後には不要となることも珍しくはありません。英語を採用や昇進の基準とする企業も増えてきました。どのような職場であれ、「これからどうやって生きていくか」を常に意識しながら働かなければならない時代なのです。

大学時代は、意外と早く過ぎ去っていきます。その貴重な学生時代にみなさんがしなければならないのは、自分の望む生き方・働き方が何であるかを明確にし、どのようにキャリアを積み上げるべきか（＝キャリア形成）の長期的・短期的な設計図を描き（＝キャリアプランニング）、その実現に向けて真剣に学生生活を送ることなのです。

1 キャリア支援プログラムと学務課キャリア支援室

キャリア教育を基幹的教育の一つと考える本学では、入学時から将来を見据えてキャリア形成が進められるように、段階的かつ幅広い分野の内容を盛り込み、授業と一体化した「キャリア支援プログラム」を提供しています（次頁参照）。

そして、みなさんのキャリア形成を支援する部署として、本部棟1階に「学務課キャリア支援室」を設置しています。相談スペース（開放・個室）を設けていますので、学年を問わず、就職活動、進学、自分の将来についてなど、どのようなことでも構いませんので、お気軽にご相談ください（相談について知り得た情報は、キャリア支援・学生支援以外の目的で利用することはありません）。

また、就職対策情報誌、公務員試験対策用参考書・問題集、企業ガイドブックも配置しています。積極的に活用し、情報収集につとめてください。

次頁から、キャリア支援プログラムの概要や就職活動を行うに当たっての留意点などを記載します。個別の事業の日程・内容等の詳細については、チラシ、メール、情報誌等でお知らせしますので、見逃さないようにしてください。

国際関係学部・地域政策学部 キャリア支援プログラム

CONTENTS	1年		2年		3年		4年	
	1st SEMESTER	2nd SEMESTER	3rd SEMESTER	4th SEMESTER	5th SEMESTER	6th SEMESTER	7th SEMESTER	8th SEMESTER
基本的考え方 GUIDELINE	<p>◇ 自律的・積極的に学ぶ姿勢を確立し、視野を広げる。</p> <p>◇ 社会との関わりをなかで、働く意義や求められる人材像・職業について理解する。</p> <p>◇ 自分の具体的な将来像から進路を決定し、準備を進める。</p>							
国際関係学部 地域政策学部 「キャリア科目」 SUBJECT	<p>講義科目</p> <p>(1) キャリアデザイン 【選択 春学期 集中講義】 自分の生き方をデザインし、人生に向けて力強く踏み出す内発的動機を高める。</p> <p>(2) キャリアプランニング 【必修】 自己理解・仕事理解を軸に、就職活動に向けた準備をする。</p> <p>(3) 就職対策セミナー 【選択】 就職活動に必要な実践的な知識を身に付ける。</p>							
地域政策学部 専門基礎科目群 「実習科目」 SUBJECT	<p>実習科目</p> <p>(4) ① キャリアプラクティス(旧授業名「インターンシップ実習」) 【選択】 就業体験を通して職業に関する活きた知識を獲得する。</p> <p>(4) ② 自治体・NPO等キャリアプラクティス(旧授業名「自治体・NPO等インターンシップ」) (「地域政策学部」の科目) 【選択】 市役所・県庁等の自治体の公共機関、NPO等の公共的な仕事を担う職業を体験し、公共的な仕事に携わる際に求められる知識・能力・動向姿勢等について理解を深める。</p>							
業界研究・企業研究 THE INDUSTRIAL RESEARCH CORPORATE RESEARCH	<p>(5) OB・OG相談 ※随時取り次ぎ</p> <p>(6) ワークカフェ (企業編・公務編)、(7) 業界・企業研究フェア</p> <p>(7) 学内企業説明会 ※3年次3月以降実施 (8) 就活バス ※3年次3月以降実施(予定)</p>							
採用試験対策 EMPLOYMENT EXAMINATION	<p>(9) 学生キャリアサポーター 4年生による3年生の支援</p> <p>(10) 筆記試験対策(模擬試験・短期集中講座) ※年に数回実施 (11) 公展学会(公務員試験対策勉強会)</p> <p>(12) その他講座(模擬面接、グループディスカッション、自己分析、エントリーシートなど)</p>							
資格取得支援 PROGRAMS PROFICIENCY TEST	<p>(13) 資格取得支援金制度 ※合格すれば受験料の半額を助成</p>							
セミナー SEMINAR	<p>それぞれのコースおよび担当教員ごとに、演習形態や演習テーマは異なりますが、文献調査、文献講義、フィールドワーク、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等を通して、キャリア形成に資する能力が培われます。コースおよびゼミごとの演習テーマ等については、シラバスを参照してください。</p>							

総合政策学部 キャリア支援プログラム

CONTENTS	1年		2年		3年		4年	
	1st SEMESTER	2nd SEMESTER	3rd SEMESTER	4th SEMESTER	5th SEMESTER	6th SEMESTER	7th SEMESTER	8th SEMESTER
基本的考え方 GUIDELINE	<p>◇ 自律的・積極的に学ぶ姿勢を確立し、視野を広げる。</p> <p>◇ 社会との関わりをなかで、働く意義や求められる人材像・職業について理解する。</p> <p>◇ 自分の具体的な将来像から進路を決定し、準備を進める。</p>							
講義科目	キャリア形成 I キャリア設計と社会人基礎力の重要性を理解し、目標を定める。		キャリア形成 II 自己理解・仕事理解を軸に、就職活動に向けた準備をする。		就職対策セミナー 就職活動に必要な実務的な知識を身に付ける。			
キャリア授業科目 SUBJECT	<p>インターンシップ入門 インターンシップの意義・インターンシップ先の探し方・ビジネスマナー等について学ぶ。</p> <p>(4)①キャリアプラクティス(旧授業名「インターンシップ実習」)</p> <p>(5)OB・OG相談 ※随時取り次ぎ</p> <p>(6)ワーキングカフェ (企業編・公務編)、(7)業界・企業研究フェア</p> <p>(7)学内企業説明会 ※3年次3月以降実施 (8)就活パス ※3年次3月以降実施(予定)</p> <p>(9)学生キャリアサポーター 4年生による3年生の支援</p> <p>(10)筆記試験対策(模擬試験・短期集中講座) ※年に数回実施 (11)公務学会(公務員試験対策勉強会)</p> <p>(12)その他講座(模擬面接、グループディスカッション、自己分析、エントリーシートなど)</p> <p>(13)資格取得支援金制度 ※合格すれば受験料の半額を助成</p>							
業界研究・企業研究 THE INDUSTRIAL RESEARCH CORPORATE RESEARCH								
採用試験対策 EMPLOYMENT EXAMINATION								
資格取得支援 PROGRAMS PROFICIENCY TEST								
セミナー SEMINAR ※研究室ごとに専門テーマは異なるが、フィールドワーク、グループワーク、プレゼンテーション等を通して、キャリア形成に資する能力が養われま	◇フレッシュマン・スキル・セミナー	◇フレッシュマン・フィールド・セミナー	◇総合演習 I	◇総合演習 II	◇総合演習 III	◇総合演習 IV	◇総合演習 V	◇総合演習 VI 卒業研究
9.	<p>フレッシュマン・スキル・セミナーで「学ぶ方法」を習得します。フレッシュマン・フィールド・セミナーでは、「現場」の調査によって自らの学習目的を明確化し、主体的に将来像を描く力をつけます。2年次の総合演習IIでそれぞれ専門の領域に踏み込み、修得した諸科学分野のスキルをもって問題を探求する総合演習III・IV・V・VIへと、学年進行に合わせてステップアップしていきます。集大成となる卒業研究までのこの一連の過程を、キャリア形成を意識しながら演習形式で学びます。ゼミなどの研究テーマはシラバスを参照してください。</p>							

2 キャリア支援プログラムの概要

(1) 国際関係学部・地域政策学部 「キャリアデザイン」(1～3年生対象：選択科目 春学期集中講義)

本授業は、「大学の学び」と「社会やキャリア」との結びつきについて、具体的事例に基づいて学ぶ機会を提供します。また、授業を通じて、キャリア形成への内発的動機を育てつつ、自分の考えを明確に伝える「発信力」の強化を図ります。本授業の目的は、学生のみなさんが充実した大学生活を送り、人間のライフスタイルや働き方の変化などを踏まえ、主体的な生き方・進路選択をすることができるようにすることです。

(2) 国際関係学部・地域政策学部 「キャリアプランニング」(3年生対象：必修科目)

本授業では、これまでの学生生活の振り返りから自己理解・自己PRの仕方について、さらには、社会の多様な業界・企業・職種・働き方について学びます。

さらに、企業等で働いている社会人の講演等を通じて、業界動向や求められる人材像について学び、自己のキャリア形成に活用します。長い職業生活で直面する課題に対処する考え方・キャリアマネジメントについても理解を深めます。本授業を通じて、職業生活という本格的なキャリアのスタートを切る前に、自分らしく、たくましく生きるために必要なことを実践的に身に付けます。

(3) 国際関係学部・地域政策学部 「就職対策セミナー」(3年生対象：非正規科目)

3年次に、就職活動に必要な実践的な知識を身に付けます。具体的には、筆記試験対策や業界研究、面接対策など、外部機関とも連携しながら、学生自身が自分で考え、書き、実践しながら、就職活動に向けて準備を進めていきます。

非正規科目のため、単位認定はありませんが、就職活動に向けた有益な情報を得て、スキルを身に付けることができます。民間企業志望者だけでなく、公務員志望者の方も、また民間企業に就職するか、公務員を志望するかどうかについて迷っている方も是非参加してください。

※「就職対策セミナー」は、非正規科目のため、履修登録は不要です。



(4) 「キャリアプラクティス」(旧授業名「インターンシップ実習」)・「自治体・NPO等キャリアプラクティス」(旧授業名「自治体・NPO等インターンシップ」)(1～3年生対象：選択科目)

① 国際関係学部・地域政策学部・総合政策学部「キャリアプラクティス」(1～3年生対象：選択科目)

「キャリアプラクティス」では、国内の企業等での就業体験を通じて、業界・企業・職種に関する活きた情報を入手し、社会で求められる人材像や自分自身の長所・短所を知り、ビジネスマナー等の実践力を培います。総合政策学部の学生が、本授業を履修するためには、「インターンシップ入門」を履修済みであることが必要です。

就業体験先の探し方や単位認定要件について学内で説明会を開催します。就業体験への参加を考えている人は、インターンシップ等説明会に参加してください。単位認定を希望するか否かに関わらず、就業体験への参加が確定したら、必ず学務課キャリア支援室に「就業体験届」を提出してください。

② 地域政策学部「自治体・NPO等キャリアプラクティス」(1～3年生対象：選択科目)

本授業は、主に事前研修、役場・市役所・県庁等の自治体の公共機関、NPO等での現場研修、事後指導等によって構成されています。本授業を通して、役場・市役所・県庁等の自治体の公共機関、NPO等の公共的な仕事を担う職業を体験し、公共的な仕事に携わる際に求められる知識・能力・働く姿勢等について理解を深めます。

このインターンシップに参加を考えている人は、(4)①に記載したインターンシップ等説明会に参加してください。なお必ずしも希望者全員が、「自治体・NPO等キャリアプラクティス」に参加できるとは限りませんので、注意してください。

※「キャリアプラクティス」および「自治体・NPO等キャリアプラクティス」は、就業体験先が決定してから、本部棟1階事務室(学務課教務係)が学生に代わって履修登録をします。

(5) OB・OG相談

本学では、後輩の就職活動をサポートする「OB・OG相談制度」を設けています。本や、インターネットの情報だけでは掴めない情報を、実社会で活躍している先輩からダイレクトに聞くことで、一層中身の濃い就職活動を行うことができます。

なおOB・OG相談を希望するに当たっては、必ず本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）に申込用紙を提出してください。申込用紙を受理後、キャリア支援室担当者からOB・OGに連絡し、承諾を頂いた上で正式に先輩との相談へ移ります（※申込用紙は本部棟1階キャリアサポートルームにあります）。

(6) ワークカフェ

各回2～3社の企業等を招き、お茶を飲みながら働くことや社会人になってからの生活などを社会人の先輩から直接聞くことができます。OB・OGにも参加していただいております。学生時代のことや就職活動のことについても話を聞くことができます。



(7) 業界・企業研究フェア、学内企業説明会

毎年、県内外の優良企業を招き学内において説明会を開催しています。数十社の企業等が一同に会する「業界・企業研究フェア」と、1教室を1企業に担当していただく講義形式の学内企業説明会があります。

いずれも、わざわざ本学に来てくださる、意欲的な企業ばかりです。自分をPRする絶好の場となりますので、積極的に参加しましょう。



(8) 就活バス（予定(新型コロナウイルスの状況により中止の場合もある。))

都市部の大学生と同様に就職活動を行うことができるように、バスを借り上げて合同企業説明会へ参加しています。他大学の学生の様子が刺激となり、就職活動へ向けての意気込みも上がります。



(9) 学生キャリアサポーター

就職活動を終えた4年生の有志が後輩の就職支援をしています。数ヶ月前まで就職活動を行い、内定を得るまでに様々な経験をしてきた先輩です。就職活動に関するリアルタイムな情報を聞くことができ、また、的確なアドバイスもしていただけます。毎年多くの学生がキャリアサポーターに相談して、就職活動を行っています。

(10) 筆記試験対策

企業の選考では、文章読解力や論理的な思考力を確かめる筆記試験が行われ、業務遂行に必要な読解力・計算力等が一定レベルに達しているかどうかを判断する基礎資料とされています。多くの企業では筆記試験を突破しなければ、面接試験に進むことができません。筆記試験には、多くの企業で利用されているSPI (Synthetic Personality Inventoryの略称)のほか、玉手箱、CAB・GAB、TG-WEBなど様々な種類があります。また近年はWEBによる受験が主流となっています。本学では、これら試験対策として、ガイダンスや模擬試験を実施していますが、各自で志望企業の試験の種類を確認しておきましょう。

なお、SPIなどの選考試験対策は3年生になって急に行ってもなかなか効果が上がりませんので、低学年次より早期に計画的に取り組むことが必要です。

(11) 公僕学舎

公務員試験は難関となっていますので、公務員を目指す人は大学が提供する支援プログラム以外にも計画的に試験対策に取り組むことが必要です。筆記試験の出題範囲は幅広く、長期的な学習が求められるため、1人では、受験勉強に挫折しがちです。「公僕学舎」という勉強会グループを設置して環境作りをしていますので、ぜひ活用してください。

また、公務員志望者を対象に、公務員採用試験（国・県・市町村・警察・消防）情報を提供する公務員試験ガイダンスや、公務員の仕事理解を深める公務員ワークカフェを開催します。さらに、実際の試験に対応できるよう随時模擬試験を実施していますので、チラシ、メール等を見逃さないようにしてください。

(12) その他講座

自己分析、エントリーシート、面接対策については、自分自身の強みを整理し、自己PRを上手く引き出すための個別指導を随時行っています。

また、グループディスカッション対策講座や3年生が参加する模擬面接は、試験本番さながらの雰囲気で行っており、受講者からは「就活で大変役に立った」と好評を得ています。面接が苦手な人も、模擬面接で経験を積むごとに、うまく対応できるようになります。

(13) 資格取得支援金制度

本学では、学生の自己啓発推進とキャリア形成及び有利な就職活動の展開を目指すことを目的に、本学が指定する各種資格（国家・公的・民間問わず）の合格者に対して受験料（検定料）の一部費用援助を行うこととします。ぜひこの制度を積極的に利用して、自らのスキルアップに努めてください。

【支援内容】

- ・対象者：対象資格（次ページ参照）の合格者
 - ・助成額：受験料又は検定料の1/2（100円未満切捨）
- 《例》受験料 5,250円の場合

$$5,250 \text{円} \div 2 = 2,625 \text{円} \Rightarrow \boxed{100 \text{円未満切捨}} \Rightarrow \underline{\underline{\text{助成額 } 2,600 \text{円}}}$$

※受験に伴うテキスト購入費、受験会場までの交通費や宿泊費、受験料振込手数料は補助対象となりません。

【申請方法】

2023年4月1日～2024年2月末日までの間に受験した試験について、合否発表後1カ月以内に、下記書類3点を本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）へ提出してください。

- ・助成金申請書（兼 口座振込依頼書）
- ・取得証明書（TOEIC、TOEFL、IELTS、日経テストの場合はスコアがわかるもの）または合格証書のコピー
- ・検定領収書（受験料確認のため）のコピー

※やむをえない事情により合否発表後1カ月以内の申請が困難な場合は、あらかじめ本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）に相談してください。

※一つでも資料が足りない場合は、申請受理できません。

※助成金申請書は本部棟1階（キャリアサポートルーム）に設置しています。

【補助金振込方法】

- ・振込時期：申請月の翌月末日まで
- ・振込口座：助成金申請書に記載された**名義の口座**へ振り込み

【対象資格一覧】

種 類	資 格 名	公/民	認 定 級
独立系	司法書士	国家	
	行政書士	国家	
不動産・建築	宅地建物取引士	国家	
	インテリアコーディネーター	民間	
	福祉住環境コーディネーター	公的	
情報系	基本情報技術者試験	国家	
	ウェブデザイン技能検定	国家	3級～1級
	ITパスポート試験	国家	
	オラクルマスター	民間	Bronze以上
	L P I C (Linux技術者認定試験)	民間	レベル1～レベル3
	M O S (Microsoft Office Specialist)	民間	Specialist、Expert
	Microsoft Business Certification	民間	
販売・営業	販売士検定	公的	3級～1級
	国内旅行業務取扱管理者	国家	
	総合旅行業務取扱管理者	国家	
	カラーコーディネーター検定試験	公的	3級～1級
	ビジネス実務マナー技能検定	公的	3級～1級
	サービス接客実務検定	公的	3級～1級
	ビジネス能力検定	公的	3級～1級
	ビジネス実務法務検定試験	公的	3級～1級
Eco (エコ) 検定	公的		
語学系	TOE I C (公開テスト：学外で行われる公開試験)	民間	500点以上
	TOE I C - I P (授業で行う以外の任意受検のみ)	民間	500点以上
	実用英語技能検定 (英検)	民間	2級～1級
	TOE F L - i B T (公開テスト：学外で行われる公開試験)	民間	61点以上
	I E L T S (公開テスト：学外で行われる公開試験)	民間	5.5以上
	中国語検定試験	民間	準4級～1級
	韓国語能力試験	民間	TOPIK I (1～2級) TOPIK II (3～6級)
	ハングル能力検定	民間	5級～1級
	日本語検定	民間	3級～1級
	漢字能力検定	民間	準2級～1級
	日本語能力試験	民間	4級～1級
安全管理	危険物取扱者	国家	乙種・丙種
経営・金融	社会保険労務士	国家	
	ファイナンシャル・プランニング技能士	国家	3級～1級
	A F P、C F P 資格	民間	
	秘書技能検定	公的	3級～1級
	簿記検定	公的	3級～1級
	金融窓口サービス技能検定	国家	3級～1級
	証券外務員試験	公的	2種～1種
日経テスト	民間	485点以上	
国際系	通関士	国家	
	貿易実務検定試験	民間	C級～A級

※学内で受験および受験申請ができるもの

- ・ TOE I C - I P 試験 (年2回：春学期1回、秋学期1回)
- ・ 中国語検定 (年2回：6月、11月)
- ・ 秘書検定試験 (年2回：6月、11月)
- ・ 日本語検定試験 (年1回：6月)
- ・ 韓国語能力検定試験 (年1回：10月) ※試験会場は学外ですが、大学からバスを出します。

※受験料助成に該当しないもの

- ・ 授業内で行われる TOE I C - I P 試験。
- ・ 内定先から受験料等が出るもの。

3 就職活動と授業や試験が重なる場合について

(注意！「就職活動による欠席届」の提出は4年生以上のみ可能で、集中講義を除く)

◆就職活動により授業を欠席する場合

就職活動により授業（集中講義は除く）を欠席する場合は、原則として、欠席後1週間以内に科目ごとの「就職活動による欠席届」（4年生以上のみ提出可能）を授業担当教員に提出してください。公欠にはなりません。授業担当教員の判断により適切な措置が講じられる可能性があります。なお、「就職活動による欠席届」を提出する際には就職活動の内容（日時、場所、活動内容）を明らかにして、本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）の確認を受けてください。本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）の確認印がない欠席届は無効になりますので注意してください。

ただし、島根県立大学総合政策学部履修規程第5条により出席授業時間数が全授業時間数の3分の2に満たない場合には試験を受けることができませんので、就職活動といえども安易に授業を欠席することがないように計画的に就職活動を行うようにしてください。

※「就職活動による欠席届」は本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）にあります。

◆就職活動と学期末試験が重複した場合

就職活動のために学期末試験を受けることができなかった場合は、以下に該当する場合のみ追試験の対象となります。就職活動のために授業を欠席する場合と同様、調整ができる場合には学期末試験を最優先してください。

- (1) 企業等の指定する日時に選考試験（面接を含む）を受ける場合。
- (2) 企業等の指定する日時に当該企業等を訪問又は当該企業が開催する説明会に参加する場合。
- (3) 内定企業から呼び出しを受けた場合は、(1)(2)に準じて取り扱うものとする。

ただし、学期末試験と重複しない日時を選択できる余地がある場合は、選考試験や説明会等の日時調整をすること。調整可能であるにもかかわらず、選考や説明会等に参加して試験を欠席した場合は、追試験の受験を認めません。

どうしても調整できず学期末試験を欠席する場合には、原則として、欠席後1週間以内に科目ごとの「就職活動による欠席届」を授業担当教員に提出してください。なお、「就職活動による欠席届」を提出する際には就職活動の内容（日時、場所、活動内容）を明らかにして、本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）の確認を受けてください。

さらに、当該科目の試験終了後1週間以内に、「就職活動による欠席届」（学務課キャリア支援室の確認を受けたもの）の写しを添付の上、「追試験願」を本部棟1階事務室（学務課教務係）まで提出してください。

4 就職活動における各種証明書の発行について

就職活動を行うに当たって、成績証明書、卒業見込証明書等の提出を求められることがあります。証明書に関する申請、受け取り等の詳細については、P8～10「II 学生生活 1 証明書の発行」をご確認ください。

郵送による証明書発行申請の場合、相当な時間がかかりますので、余裕を持って申請をしてください。